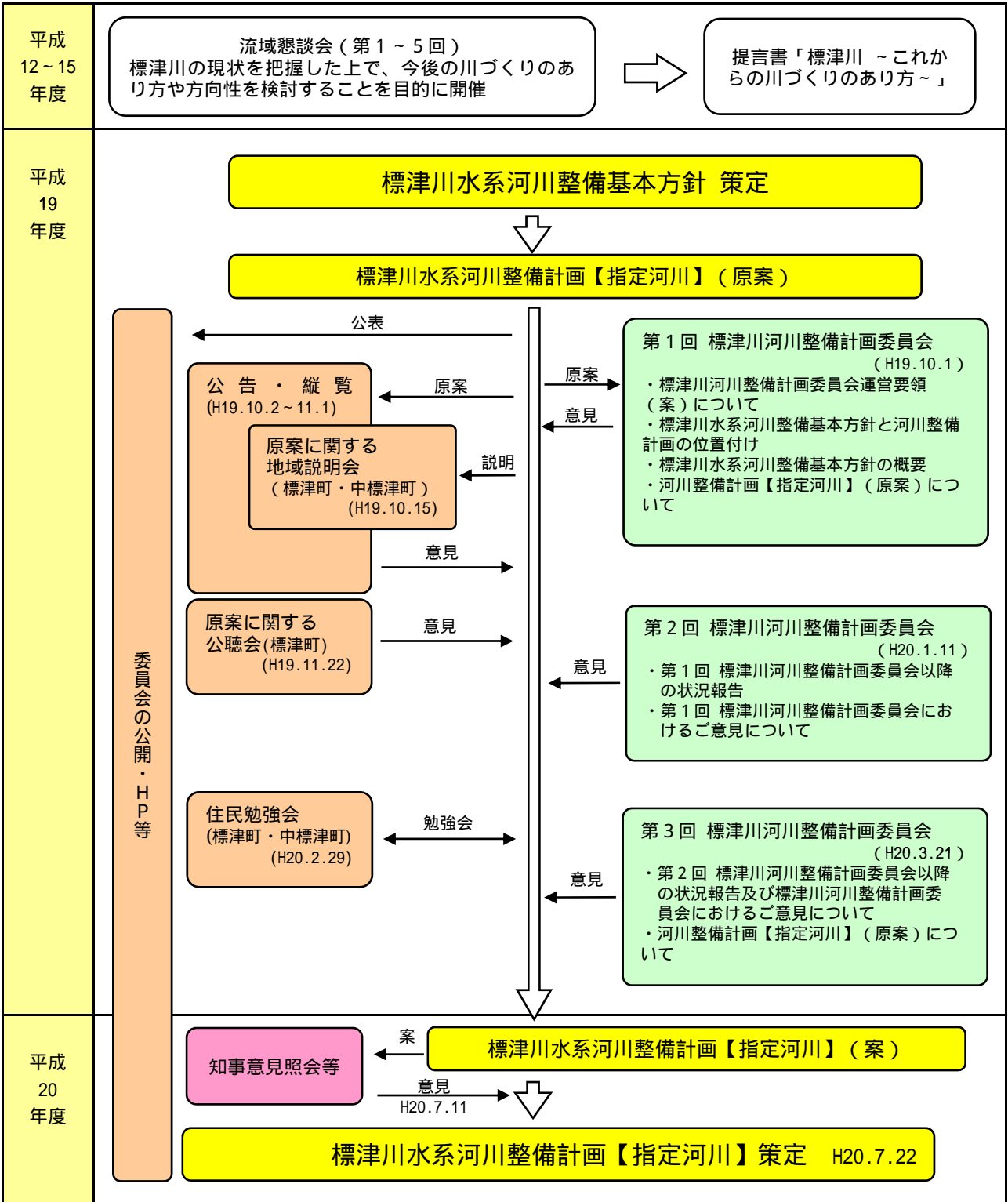


標津川水系河川整備計画【指定河川】策定に向けた経過



標津川水系河川整備計画【指定河川】の概要

〈流域の概要〉

流域面積: 671km²

幹川流路延長: 78km

流域内市町村: 中標津町、標津町、別海町、標茶町の4町。

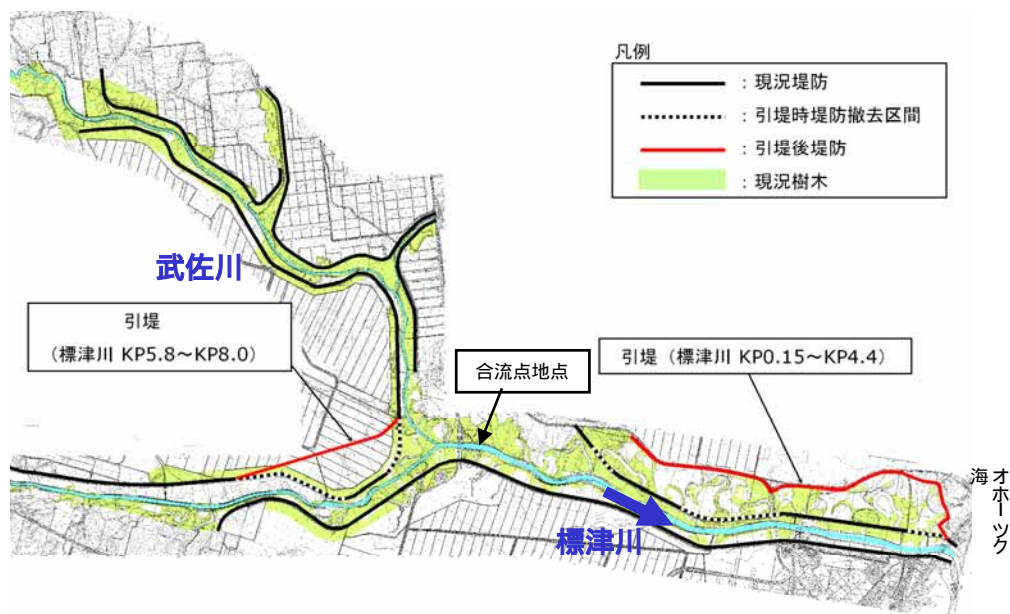
流域内人口: 約3万人

〈整備目標及び概要〉

対象となる河川 標津川、武佐川他

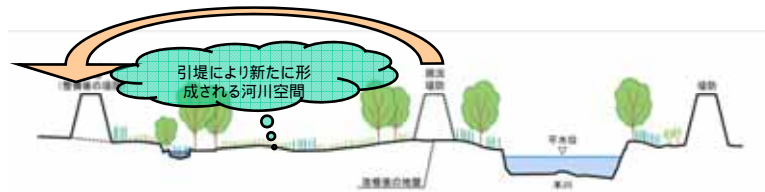
対象期間 概ね10年

目標流量等 戦後最大規模(昭和22年9月)に相当する流量910m³/s(合流点地点)



洪水を安全に流下させるための対策

河道への配分流量を安全に流下させるため、引堤(延長: 約6.5km)により河積を確保する。



「自然復元川づくり」の取り組み

標津川が有していた河川の生態系を復元するため、引堤によって形成される河川空間において、かつての河畔林や湿地のある氾濫原の復元、旧川を活用した蛇行形状の復元等による浅場(水際域)、緩流域や深場の創出などに努める。

実施にあたっては、学識経験者等からの助言を得ながら、地域住民の意見を聞いたうえで具体的な対策を検討する。



標津川河口付近(引堤により新たに形成される河川空間)